

茶論

以茶論美

古くから日本人の暮らしの中にある、お茶。
かつて、お茶は「飲む」という行為を越え、
人を「もてなす」場でもありました。

空間を隅々まで設え、季節の花を挿れる。
相手の笑顔を想いながら、お菓子を選び、器を合わせる。

そのときかぎりの取り合わせに思い巡らせることで、
新ブランド『茶論』が、日本の文化への入り口となり、
みなさまの美意識を磨くきっかけになることを願っています。

salon-tea.jp

新ブランド『茶論』デビューのご案内 4月24日(火)奈良・元林院に1号店オープン

中川政七商店グループの株式会社道艸舎より、「以茶論美（茶を以て美を論ず）」をコンセプトとした新ブランド『茶論（さろん）』がデビューいたします。1号店は、4月24日（火）より、古くからの建物が立ち並び、花街の風情漂う、奈良・元林院にある同グループのテキスタイルブランド「遊 中川」の奈良町本店奥にオープンいたします。

詫茶の祖・村田珠光の出生の地、奈良で千利休が茶巾として愛した高級麻織物「奈良晒」の卸問屋として商いを始め、現在でも茶道具全般を扱うなど、茶道とは創業よりつながりの深い中川政七商店が、日本のお茶文化の入り口を広げるため、ブランドディレクターに茶人・芳心会主宰の木村宗慎氏を迎え、お届けする新たなブランドです。お茶を通して“おもてなし”の力量を上げる「稽古」、お茶を通して心に閑を持つ「喫茶」、オリジナル茶道具を販売する「見世」の3つの場によって構成される店舗事業です。

4月24日(火) グランドオープン

【茶論 奈良町店】

住所：奈良県奈良市元林院町 31-1（遊 中川 奈良町本店奥）

営業時間：10:00 ~ 18:30

定休日：不定休

ブランドディレクター 木村宗慎（茶人・芳心会主宰）

クリエイティブディレクション 水野学（good design company）

「茶道具箱」プロダクトデザイン 鈴木啓太（PRODUCT DESIGN CENTER）

店舗設計 佛願忠洋（ABOUT）

■今後のスケジュール

2018年4月24日(火) 「茶論」1号店 奈良町店 グランドオープン

2018年9月末 「茶論」2号店 東京・日本橋 オープン

<取材に関するお問い合わせ>

株式会社 中川政七商店 東京事務所

メディア課 広報 長野宏美 080-3464-4622 kouhou@yu-nakagawa.co.jp

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-43-7 2F 電話番号03-5778-3363 ファックス03-3409-2265

URL <http://www.yu-nakagawa.co.jp>

茶論をおりなす三つの「場」

茶論は「稽古」・「喫茶」・「見世」の三つの場からなる店舗事業です。

「稽古」を受け、「喫茶」で美味しいお茶と甘味を喫する。欲しい道具を「見世」で購入。

お茶の楽しみをワンストップで体感いただけます。



「茶論」店舗イメージ



稽古

お茶を通しておもてなしの力量を上げる「稽古」。

ニュートラルで自由にお茶の文化にふれていただきたい、日常の中でお茶を愉しんでいただきたい、という思いからテーブルスタイルで行います。「美しい所作を身につけたい」「美味しくお茶を点てられるようになりたい」お茶を習う目的は人によって様々です。ゴールを自身で決められるように段階的に設定し、目的に合わせた稽古を受けることが出来ます。

<稽古例> ※内容は変更になる可能性があります。

初級稽古（全6回）「お茶を美味しく淹れる・点てる」

中級稽古（全6回）「お茶でもてなす」

単科稽古（1回～）「茶碗を知る」「茶杓を削る」「お茶菓子を作る」



喫茶

お茶を通して心に閑を持つ「喫茶」。

日本のこだわりのお茶と甘味を揃えます。

お茶を美味しく愉しむために、季節に合わせた甘味をご用意いたします。



見世

オリジナル茶道具を販売する「見世」。

茶論オリジナル商品に加え、お茶に必要な道具を各種揃えました。

期間限定でテーマを設定した催事も随時行います。

■「見世」オリジナル茶道具 例



茶道具箱

お茶道具一式が美しく収まるオリジナルの茶道具箱です。箱の中を仕切る特徴的な格子は、茶器の象徴的な存在である茶碗を中心に据えるためのデザイン。漆の塗蓋は、茶筴用に一部が分割できるものと一枚のものがあり、好きな組み合わせを選べます。



※お茶道具は、それぞれ「茶道具箱」とは別売りです。



菓子切



(左から) 麻の靴下袋・数寄屋足袋・数寄屋靴下



麻の古帛紗



懐紙



(左から) 懐紙入れ (大)・(小)



※懐紙入れ 使用イメージ

■「喫茶」メニュー イメージ

